

夏の到来です。

夏の到来です。市のお知らせによると、学校の夏休みは8月に入ってから2週間足らずとのこと。4・5月の休校による不足を補う為であるようです。暑くて儘ならない為の夏休みが、コロナのおかげで吹っ飛んでしまいました。自粛によって収まるかに見えた感染も、先月始めより再び勢いを増して、罹患者の増加がみられます。治療薬やワクチンが未だ無いというのに、人の交流を緩めたのだから当然かも知れません。第二波の到来でしょう。症状が出ないうちの感染が出ないうちの感染が有ります。“移さない、移されない”をそれこそ“死守”しながら、生きるしかないのです。



サンマの姿が店頭にありません。TVでは一尾〇〇百円の値段が付いたと報じていました。海流の変化や、乱獲してしまう国があるから等々理由にしていますが、残念ですね。ここにきて、国産のウナギがいつもの年より多くなっているとの報道もありました。稚魚のシラス鰻が沢山取れたとかで、来年も多く漁獲が期待されるとのことです。よかったですね。



梅雨明けが待たれますが、いわゆる線状降水帯の発生による豪雨で多くの被害が九州地方などに起こりました。これまで経験したことのないほどの豪雨との警報予測がことごとく当たってしまい、老人施設でも多くの犠牲者がでたようです。荒れ狂う洪水には、職員の必死の努力もむなしかったようです。同じような施設にかかわっている身にとっては、他人事とは思われません。ご冥福とお見舞いを申し上げます。



繰り返します。最大限努力して、“コロナウイルスを貰わない、そして与えない”を実行しましょう。自己規制が一番です。必ず、努力は報われます。乞うご期待です。本当ですよ！！

夏バテに陥らないようにして、猛暑を乗り切りましょう。

令和2年8月7日

院長 清治 邦夫